

令和7年12月25日（木）

あさひの日だまり

NO.29

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～1年間大変お世話になりました～

ご支援ご協力に感謝申し上げます。

学校周辺の木々が精一杯に葉を広げ夏の日差しをいっぱいに浴びていた真夏のあの日から2学期が始まりました。「この先涼しい日はやってくるのだろうか？」と本当に心配になる毎日でした。「温暖化」という言葉を身をもって突きつけられた今年の夏でした。それでも季節はこうやって移ろってきます。木々は葉を落とし冬支度をしています。登校してくる子どもたちは温かそうなマフラーや手袋に身を包んでいます。季節は繰り返します。そして子どもたちはその流れの中で確実に成長してきました。

みるみる変化していく子どもたちを間近で見ていると、その成長に少なからず影響を与えている私たちの責任の重さをひしひしと感じます。

そして、「子どもたちのよりよい成長に少しなりとも尽力することができていただろうか」といつも節目になると不安な思いになります。私たち学校がご家族の願いになかなか答えることのできない場面もあったことと思います。至らなかったことにつきまして学校を代表してお詫びします。来年度子どもたちのためになお一層力を注いでいかなくてはならないと思っております。

2学期の最終日を子どもたちとともにこうして迎えることができますのもひとえにご家族の皆様の学校へのご理解とご協力があったからにはかなりません。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

終業式にあたり子どもたちのお話する時間をいただきました。下のような内容でお話をしました。ご一讀いただけたら幸いです。



さてみなさん今日はクリスマスです。サンタさんから何かプレゼントをもらいましたか。

ゲームを買ってもらったとかシールをもらったとか嬉しそうに何人かの人と話してくれました。待ちに待ったプレゼントだったのだと思います。どんなプレゼントも心のこもった大切なプレゼントです。大事にしましょうね。

これから校長先生がちょっと前に聞いたお話を紹介します。

みなさんここに神様からいただいた大切な大切な宝物の入った箱があります。

さてこの箱の中に入っている大切な宝物っていったい何でしょう？

何人かの人に少しだけ箱のなかを見てもらいましょう。

1つ約束をして下さい。箱の中を見ても絶対に宝物が何だったか大きな声でしゃべらないでくださいね。お願いします。

一瞬だけふたを開けますよ、いいですか。はい、どうぞ。

小さな声で校長先生に大切な宝物が何だったか教えてください。さあ次の人どうぞ。箱の中の宝物は何でしたか。

2人の人に今大切な宝物を見てもらいました。この宝物は他のどんなものよりも大切なものかもしれません。

さて宝物何だかわかりますか？

ヒントを出しますよ。この中に入っているものは誰の家にもあるものです。学校の中にもありますよ。

じゃあこの中に何が入っているかをお見せしますね。これが入っていたものです。「この中に入っていたものは鏡です」



〇〇さんが見たものは何でしたか。

．．．．．そうです。自分で

したね。

この箱のふたを開けると、鏡に映った自分の顔を見ることができます。そうです。大切な大切な宝物って自分自身のことなんです。

校長先生はこの話を聞いたとき「なるほどな～、自分自身を大切にしていきなさいっていう意味なんだ」「素敵なお話だな」と感心しました。

聴いたお話はここまでです。ここからは校長先生が考えたことです。

校長先生はこの話を思いだしながら校長室の鏡に自分の顔を映して、ところで「自分を大切にするにはどうすればいいのかな？」と考えてみたんです。

鏡の中の自分とにらめっこをしながら考えてみたんです。鏡の中の自分が答えてくれました。「わからないな～」って。「自分を大切にするにはどうすればいいんだろう？」校長先生は悩んでしまいました。

みなさんは「自分を大切にするためにはどうしたらいいと思いますか？」

実は校長先生何人かの人に聞いてみたんです。「自分を大切にするにはどうすればいいと思いますか」って。

- ・私は笑顔が好きだからニコニコ笑顔でいること。
- ・親からもらった大切な体だから体を大切にしたい。
- ・いつも頑張っているからたまには何も考えないで「ぐたー」としたいときもある。そういう自分もそれでいいんだよと大切にしていきたい。
- ・ずっと大切に使う歯だから、毎日ちゃんと歯を磨くこと。

皆さんどうですか？

みんな自分の大切なことって違うんだね。校長先生はきっとそれでいいんだろうなって思うんです。

そして、鏡を眺めながら校長先生は決めました。自分を大切にする方法を。

校長先生は今62歳です。あと3年たつと65歳になります。65歳からは老人の仲間入りです。でも、老人になったらゆっくり休もうとは思いません。絶対に色々なことに「挑戦」を続けるぞと決めています。何かに挑戦し続けることが校長先生にとっては自分を大切にしていることになると思うんです。

いくつか「挑戦」してみたいことが校長先生にはあるんです。「挑戦」の途中でどんな壁にぶつかるかと考えると今からとても楽しみです。

皆さんにお願いがあります。どうぞ皆さん、休み中に「世界に一つだけのかげがえのない命をいただいたこの私を大切にするにはどうしたらいいだろう？」って考えてみてください。

いつかそのことを実行できる時が来たらそれはとても素敵なお話だと思うんです。だって大切なものは大切にされなきゃいけないですものね。

今日の校長先生のお話は終わりです。

皆さんよいお年をお迎えください。お家の方にも校長先生が「よいお年を」と言っていたよとお伝え下さい。